

## 放課後等デイサービス ガイドラインに沿ったアンケート調査の結果について

実施時期	平成 29 年 11 月～平成 29 年 12 月
対象者	府内 5 ヶ所のぴょんぴょん教室に通所する就学後児童の保護者 74 名
まとめ	このたびは、放課後等デイサービスガイドラインに沿ったアンケートにご協力いただきありがとうございました。各設問について別紙のとおりまとめましたので、ご報告させていただきます。また、この報告は別途、ぴょんぴょん教室のホームページにて公表させていただき、教室の今後の課題などを現在通所している利用児・保護者、これから利用を検討される利用児・保護者と共有し、保護者の意見を反映した教室（事業所）づくりを推進していきます。
具体的検討項目	<p>① (18) 「事業所の支援について満足しているか」 90.5% の保護者が「はい」と回答 一方で約 1 割の保護者から「どちらともいえない」との回答を得ており、今後、利用児・保護者とのコミュニケーションを密にし、より満足していただける支援を目指していく。</p> <p>② (3) バリアフリーへの配慮 ぴょんぴょん教室の中には階段のある事業所もあり、利用児には不便をかけている。当面は階段利用を継続していくことになるが、転倒などの事故がないように細心の注意を払っていく。</p> <p>③ (10) 保護者同士の連携支援 保護者同士の連携については要望やニーズの高い項目である。ぴょんぴょん教室では、就学前の利用児とその保護者を対象に両親教室や交流会などを実施しているが、放デイ利用児の保護者同士の連携は今後やり方などを考え、力を入れていく分野である。保護者の期待に添える具体的な方策については随時検討していく。</p> <p>④ (11) 苦情・事故発生時の対応について 苦情や事故等緊急かつ重大な課題が発生した場合は大阪府・堺市に速やかに連絡し、必要な対応を実施していく。今後も教室のみの対応とするのではなく、社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会法人本部が率先して事態の解決を図っていく体制をとっていく。</p> <p>⑤ (12) 意思疎通や情報伝達のための配慮 聴覚障がいのある保護者の方、日本語を母語としない保護者の方など、必要な情報伝達が確実に行われているか随時確認して、コミュニケーションの齟齬がないようにしていく。</p> <p>⑥ (13) 会報やホームページを活用した情報発信 今後、必要な情報発信ができるようにインターネット等を積極的に活用していく。</p> <p>⑦ (15) マニュアル等の保護者への周知／ (16) 定期的な避難訓練の実施 マニュアルの策定・更新は適宜進めているが、利用児等への内容の周知・徹底については十分でないところもある。今後、チラシやリーフレットなどで、通所している時に発生した緊急事態・非常災害の対処法などについて周知していく。放デイの利用児は個別支援のため、通所の日時がばらばらであり一斉の避難訓練などはできないが、少人数の避難訓練についても検討していく。</p>

ぴょんぴょん教室 放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	教室	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	計	改善目標、工夫している点など
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	合計	66	8	0	0	74	人数をふやしていくべきである。 グループ活動(2~3人)には十分なスペースですが、集団だともしかしたら手狭かもしれない
	職員の配置数や専門性は適切であるか	合計	67	6	1	0	74	
	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	合計	58	12	2	2	74	
	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	合計	70	4	0	0	74	
	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	合計	64	8		2	74	
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	合計	39	16	12	6	73	
7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	合計	70	4			74	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるているか	合計	69	4		1	74	
	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	合計	63	9	2		74	
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	合計	32	23	11	8	74	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	合計	43	25	1	5	74	
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	合計	50	19	2	3	74	
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	合計	35	26	7	6	74	会報やHPがあれば教えてほしい 口頭で教えてもらうことが多いが書面だと(急ぐ時)忙しい時助かる
	個人情報に十分注意しているか	合計	68	5		1	74	
15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	合計	28	28	10	8	74	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	合計	21	30	15	8	74	
17	子どもは通所を楽しみにしているか	合計	62	10	2		74	
	事業所の支援に満足しているか	合計	67	7			74	

## 放課後等デイサービス ガイドラインに沿った**職員アンケート調査**の結果について

**実施時期** 平成 29 年 11 月～平成 29 年 12 月

**対象者** 府内 5ヶ所のぴょんぴょん教室の指導員 35名

**まとめ** 同時期に実施しました放課後等デイサービス保護者へのアンケートと並行して、日ごろ支援に携わっている職員にもアンケート調査を実施しました。別紙のとおりまとめましたので、ご報告させていただきます。今回のアンケートから、子ども達への支援の充実や指導員としての資質向上のための研修について意欲が高いことがわかりました。一方で、職員の勤務歴や勤務状況により、事業所としての取り組みや状況が周知できている部分とできていない部分がはつきりしたとも感じます。研修体制を一層充実させながら、次年度に向けて事業所内での情報共有にも力を入れていく必要性を感じました。この結果は保護者アンケート（結果公表ズミ）と合わせて反映し、今後の開かれた教室（事業所）づくりに役立てていきたいと思います。

### ① 資質向上のための研修について

研修については出来るだけ積極的に参加するように事業所としても配慮しているが、日常的な業務の都合もあり、十分ではないとの意見もでている。一部の職員からはもっと参加したいという積極的な希望がでており、ぴょんぴょん教室の職員として更なる資質向上を目標に、今後も研修に参加しやすい環境を整えていきたいと考える。

### ② 適切な支援の提供について

ぴょんぴょん教室の放課後等デイサービスは原則個別指導にて実施している。その児童の発達や状況におうじて支援内容を決定しており、個別のプログラムを提供している。支援内容は子どもごとの担当指導員が保護者の意向を踏まえつつ決定している。1回ごとの支援内容について、職員同士が話し合う時間が十分取れていない場合もあり、今後の課題である。それらの課題を補完するために定期的な部内会議の場を設定し、情報交換に努めている。

### ③ 関係機関や保護者との連携について

ぴょんぴょん教室は原則保護者と一緒に通所していただくので、保護者を介して関係機関との情報を交換することが多い。そのことは保護者・利用児を中心とした支援体制の構築につながっていると考える。利用児の情報については毎回の通所時に保護者と直接話をして共有することが多い。学校など関係機関には、学校等や保護者の了解が得られた場合に積極的に訪問をしている。

保護者からは保護者同士の交流をサポートしてほしいという要望が寄せられており、次年度以降に具体的な方策を実行していくように検討中である。

### ④ 非常教室の対応について

避難訓練など定期的に実施しているが、地震や火災のみならず不審者対策なども実施していく。虐待の研修は毎年参加しているが、振り返り研修などを実施し、福祉職として適切な考え方や対応を全員が身に着けることを目標にしていく。「ヒヤリ・はっと」の蓄積を今後もを行い、事故のない安全で安心な事業所をこれからも継続していく。

ぴょんぴょん教室 放課後等デイサービス評価表(内部評価)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	計	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	19	10	5	1	35	今後、利用定員が増えるとすると部屋数が少なく、今あるスペースの工夫を考えたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	21	7	5	2	35	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	9	3	2	35	
業務改善	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	27	5	0	3	35	技術的なことだけでなく、一般的な仕事スタンス姿勢への教育があつてもよいと思う 色々な研修に参加させてもらっているがもっと学びたい。研修に行った先生に教えてもらっている(研修報告)
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	29	5	0	1	35	ぴょんぴょん来所のおりおりに学校や家庭での様子を尋ねるようにしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	16	2	3	35	毎回の個別指導の内容をチームで立案してはいないが、集団指導を行う時は、担当者で相談している。また相談にはその都度乗ってもらえる。内容の順番等はできるだけ変えないようにしている。内容については子どもの実態や興味・関心のあるものも取り入れつつ進めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	19	13	2	1	35	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	18	1	4	35	原則として平日、休日、長期休暇での療育内容の変更は実施していない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	19	11	2	3	35	就学後の児童については全員原則として個人指導もしくは少人数でのグループ指導としている。
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	21	11	2	1	35	十分な時間を確保するのが難しいこともある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17	15	2	1	35	十分な時間を確保するのが難しいこともある なかなかゆっくり話す時間がないので時間を見つけて話すようにしているが足りないように思う 毎日ではないが、定期的に会議の場を持ち、情報の共有に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	27	7	0	1	35	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	26	4	2	3	35	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	0	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	19	10	0	6	35	市によって異なり、できていることとできていないことがある
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15	12	3	5	35	学校の先生とのかかわりは保護者を通して行い、直接学校に連絡することはないが、学校、市役所からのケース会議には出席している。
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	12	14	4	5	35	すべての児童は原則として保護者とともに通所してもらっているので保護者を介して必要な連絡は実施している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	19	9	3	4	35	
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	19	5	9	35	本人や保護者が希望する場合は行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	18	2	6	35	研修は受けている。必要に応じて助言をうけている。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25	6	0	4	35	原則として保護者とともに通所してもらっているので、毎回の通所時に保護者と話をして、共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	13	13	5	4	35	両親教室、保護者の交流会など保護者への支援を実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25	7	0	3	35	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	27	5	0	3	35	保護者からの相談には時間をかけて聞いている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	14	8	5	35	保護者の要望に応じて、他の保護者との交流の場の設定など行っている。次年度にむけて、より保護者の連携を強化していく方向で各種の取り組みを考えていく。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	0	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	11	0	4	35	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	10	12	5	35	上記32と合わせて、今後取り組みを企画・実行していく。
	35 個人情報に十分注意しているか	32	3	0	0	35	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	26	7	0	2	35	出来る限りしているつもりだが、まだまだ十分な汲み取られていないし、保護者との意思疎通がいる。 外国にルーツをもつ保護者に対して教室からの配布物等にふりがなを付けたりして配布している。コミュニケーションが円滑にいくよう言葉使いに注意している 手話などで詳しい説明は通訳の人に来てもらっている。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	22	10	0	3	35	マニュアルはあるが、そういう状況に置かれない時にマニュアル通りに運べるかどうかは不安である
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	28	6	0	1	35	もっと回数が必要と思われる
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	4	4	3	35	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	12	10	8	35	そういう状況がないですが保護者への理解意思疎通は非常に大切と思っている
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	14	5	5	35	食事提供は実施していない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	10	5	3	35	作成はしているがもっと事業所内での共有が必要